

教養科目調査結果の概要と問題点

共通科目委員会授業改善等検討部会
見 崎 恵 子

はじめに

2000年度よりスタートした共通科目の新しいカリキュラムは、すでに8年を経て、その成果とともに課題、問題点も明らかになりつつある。そのため昨年度（2007年度）「授業改善・成績評価を検討するための部会」（以下、「改善部会」とする）は、初年次教育導入の検討・試行決定のほか、大学の定員編成及びカリキュラムの全体的改革を視野に入れつつ、外国語科目やスポーツ科目の単位上の変更、情報教育のⅠとⅡの統合及び内容の精選、主題科目の単位の削減・開講年次改訂等の検討を行った。

しかし、2008年度において、大学全体の改革に関する計画が再考され、前年度の改革案の具体化も一旦見送られることになったため、共通科目に関する改革も凍結状態にある。教員養成を主たる目的とする教育大学においては、免許取得に関わるカリキュラムの制限的枠組みゆえに、一般大学と同じような「教養と専門」の分化と独立の教養教育体制を前提として、共通科目の改変だけを別に進めることは不可能であり、また望ましくもない。

そこで改善部会では、2007年度実施の「授業改善のための調査（学生による授業評価アンケート）」をもとに現状を分析し、また共通科目の各グループからの報告に基づいて問題点を議論した。ここでは部会委員としてその一部を報告したい。

1. 2007年度授業改善アンケート結果の概要

1.1 2007年度アンケートの内容・方法等

2007年度の授業改善のための学生アンケートは、教育創造センターによって、共通科目の授業すべてを対象に、授業開始後の第8週目と第14週目と二回実施された。回収率は、前期第8週95%、第14週92%、後期第8週88%、第14週89%となっている。

調査項目は2004年度までの調査からかなり変更されているため、2007年度の結果を直接以前のものとは比較することはできない。調査項目及び選択肢、回答方法等は添付のアンケート用紙を参照されたい。

データ集計は、前期・後期それぞれについて、共通科目を構成する各グループ毎になされ、その一部は教育創造センターのウェブサイトにはグラフ化されて掲載された。それゆえに、アンケート結果の分析及びそれに基づく自己点検も、各グループに委ねられ、その報

告は共通科目委員会においてなされている。また、その一部は共通科目研究交流誌『教養と教育』第8号（2008年3月）に掲載されている。

1.2 2007年度アンケート結果：基礎科目と主題科目

ここでは、調査対象となった共通科目のうち、情報教育入門（C）、外国語科目（F）、スポーツ科目（Sp）は取り扱わない。また、教養科目（L）のうち全学必修の「憲法」についても、グループにおいて独自の分析がなされているので割愛する。分析対象は基礎科目（人文科学入門・社会科学入門・自然科学入門・社会生活入門）と主題科目（こころとからだ、科学技術と人間、環境と人間、国際社会と日本、人間と生活、日本の社会と表現文化、平和と人権）のみである。また、それぞれを構成するグループ毎の詳細な考察も、上述した理由から行わない。代わりに主題科目については、「入門」「展開Ⅰ・Ⅱ」「セミナー」に分類して全体像を紹介する。

このような結果報告を行う理由は、第一に、基礎科目と主題科目において、「グループ」としての教育実践活動が、教員の各講座への分散ゆえに困難であるとの指摘が多いこと、第二に、加えて、主題科目「入門」「展開Ⅰ・Ⅱ」「セミナー」という授業方法・履修学年等に大きな差異のある科目構成となっており、その関係についても課題が指摘されていることにある。

そこで以下では、「基礎科目」「主題科目入門」「主題科目展開」「主題科目セミナー」としてまとめたデータ（第14週目での調査結果）を中心に、必要に応じて他の集計結果や過年度の調査結果を参照しながら、概観したい。

なお、「基礎科目」は、一年次前期授業（自然12、他の分野各8、合計36の授業）と、一年次後期授業（自然6、他の分野各4、合計18の授業）の合計データを用いている。主題科目については、一年次後期「入門」、二年次前期の展開Ⅰと後期の展開Ⅱを合計した「展開」、三年次前期「セミナー」毎に、7つの柱すべてのデータを合計している。この「基礎科目」「主題科目入門」「主題科目展開」「主題科目セミナー」の4つの集計一覧表は本論末に添付しているので参照されたい。

表：授業のための週あたり学習時間

単位：%

	2003 年度後期※		2007 年度			
	入門	展開	入門	展開	セミナー	基礎科目
0 時間	56.7	55.3	56.8	51.1	25.4	50.5
1 時間以内	35.7	36.4	27.4	30.7	32.1	33.5
1～2 時間	5.7	6.2	10.0	12.7	24.9	11.5
2～3 時間	1.9	1.6	2.1	3.1	10.3	2.4
3 時間以上	2003 年度は 2 時間以上		3.1	1.8	7.0	1.7
無回答	0.0	0.6	0.6	0.6	0.2	0.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※2003年度の数値は、『教養と教育』第5号（2005年）、102ページ表1から引用。

(1) 授業及び教員についての「良好」な評価

授業で「考え方・知識・技能」が身についたとする者（強く、ややそう思う）が7割以上であり、授業の内容量及び難易度についても「ちょうどよい」とする回答が7、8割以上を占めている。授業難易度についての唯一例外が「基礎科目」であり、「難しい・難しすぎる」が3割を超えた。

教員の話し方や説明の仕方について、「聞き取りにくい」「わかりにくい」とする者は2割以下、ほとんどの場合1割程度までである。教員の「授業時間の使い方」及び「授業準備」についても大部分の受講生が問題を感じてはいない。

以上から、教員が行う授業に対しては概ね良好な評価が得られていると言えよう。

(2) 受講生の意欲や学習時間における問題

「授業を意欲的に受講したか」の項目に対して、主題科目では6割以上が、「基礎科目」でも54%が肯定的回答である。授業に「ほとんど出席した」者も、一年次（「基礎科目」「主題科目入門」）で85%を超えている。

しかし、「自分で考えたり調べたりしている」とする回答（強く、ややそう思う）は、「意欲」に比べてかなり少なく、「セミナー」を除いて3割台にすぎない（「基礎科目」31.6%、「主題科目入門」31.4%、「主題科目展開」37.2%）。

これに関わっては、以前から指摘されている「学習時間の少なさ」が2007年度調査でも明らかになった。

「基礎科目」「主題科目入門」「主題科目展開」で「学習時間ゼロ」という回答が5割を超える。

もちろん、アンケートは「この」授業に対する学習時間を問うている調査であり、「ゼロ」と回答した学生がその週において他の学習活動を多くしたか、しなかったかは不明である。上の表からは、2003年度後期に比較して学生の学習状況が改善される傾向にあることがうかがわれるが、2003年度の数値には「展開1」のデータが含まれていないこともあり、確かなことは言えない。

(3) 主題科目の特徴と問題点

主題科目の「入門」「展開」「セミナー」は授業方法も開設学年も異なり、また授業ごとの学生規模も大きく違っている。それゆえ、単純な比較は難しいが、調査結果からは次のような点が指摘できる。

第一に、受講生の授業に対する意欲や実践において「入門」→「展開」→「セミナー」と高まる傾向にある。「授業に触発されて、自分で考えたり調べたりしている」という項目では、「強く」「やや」の肯定的回答は、31.4%→37.2%→61.6%となる。「意欲的に受講した」でも、60.2%→65.4%→71.6%である。とくに学習時間については、上述したように、「学習時間ゼロ」は56.8%→51.1%→25.4%と減少している。

授業に触発されて、自分で考えたり調べたりしている
問2 入門



問2 展開



主題科目のセミナーは、受講生の調べ学習や発表、討論などを軸とする、相対的に少人数のゼミであり、それが学習意欲の具体的実践への結びつきをもたらしていると考えられる。さらに「教員とのコミュニケー

問2 セミナー



「セッション」でも肯定的回答は「入門」「展開」が3割程度なのに対して、「セミナー」では6割となる。

第二に、にもかかわらず「授業への出席」そのものはセミナーでかなり低い。「ほとんど出席した」という回答は「入門」85.3%→「展開」78.4%→「セミナー」66.0%とかなり減少する。つまり、授業への「意欲」や学習時間が、授業への出席とは相関しないことを示す結果となったのである。高学年になるほど「専攻」の授業や学習実践が忙しくなることの反映と考えるべきなのか、調査結果からは判然としない。

第三に、「入門」に対する評価が全般的に低いことがある。その原因が「授業内容が多すぎる」や「難しい・難しすぎる」ことにあるわけではないことは、「展開」と比較すれば明らかである。アンケート調査には現れない他の要因が作用していると思われる。例えば従来から指摘されてきた問題、すなわち7つの柱への振り分けが必ずしも学生の希望通りにはならないことや、柱毎の受講人数に大きな差があることが、要因の一部として挙げられよう。7つの柱（グループ）毎に授業の方法・内容構成もかなり異なっており、一概には言えないが、「入門」についての相対的な評価の低さは、「柱立て」そのものの構造的問題とも関わっているかもしれない。ちなみに「入門」の「学習時間」では、柱によって「ゼロ」回答の割合が6.7%から75.2%まで、著しく大きな開きがある。

(4)「基礎科目」の特徴と問題点

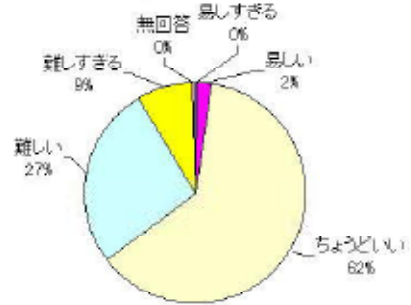
2007年度の「基礎科目」は、従前は存在しなかった「社会生活入門」が加わった4分野で構成され、「人文科学入門」「社会科学入門」「社会生活入門」から2つ（4単位）を修得し、「自然科学入門」2単位は必修となっている。

主題科目と比較して、基礎科目の受講生の意欲や学習は、全体的に低い傾向にある。「意欲的に受講した」と肯定的に回答した者は54.0%、「自分で考えたり調べたりしている」は31.6%にとどまる。また「学習時間」では「学習時間ゼロ」が50.5%、「1時間以内」が33.5%であり、主題科目「入門」と「展開」と同様、8割の学生がゼロから1時間である。

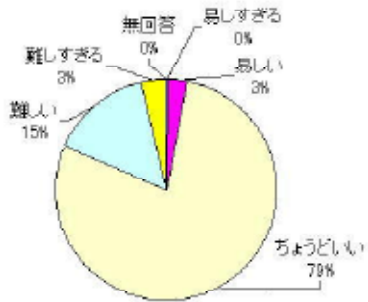
基礎科目で特徴的なのが、「授業が難しい」「扱われ

る量が多い」と感じている受講生がかなりいることである。「難しい」「難しすぎる」は合わせて35.2%、「多い」「多すぎる」は21.7%に達する。それゆえにか、「教員の説明はわかりやすい」という項目では「あまり思わない」「全くそう思わない」が合わせて18.2%いる。

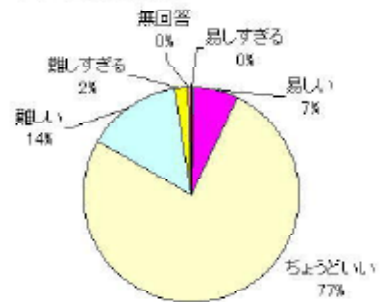
問9 授業の難易度 基礎科目



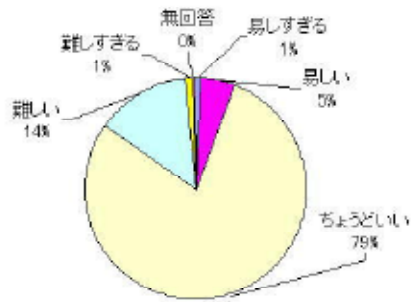
問9 主題科目入門



問9 主題科目展開



問9 主題科目セミナー



同じような講義形式が多い「主題科目展開」での数値は、「難しい」が16.1%、「量が多い」は10.2%、わかりにくいのは8.8%であり、単に講義という授業形式の問題ではなさそうである。「基礎科目」では「授業

についていけない」学生が相対的に多いと判断せざるをえない。

とくに「自然科学入門」でこの傾向は顕著であり、4割を超える受講生（42.0%）が「難しい、難しすぎる」と回答している。「難しい、難しすぎる」と感じているにもかかわらず、「学習時間」が増加していない（「自然科学入門」の学習時間「ゼロ」の割合は52.8%）ことは、難しすぎて「意欲がそがれている」者もいることを示唆しており、この点での授業の工夫が必要だと思われる。しかし他方で、受講生が「ちょうどよい」と考えるレベルや内容の授業を行うことが、大学教育として本当に良いことなのかどうかは、共通科目の枠を超えて議論する必要があるだろう。

「基礎科目」として、2007年度調査とある程度比較可能な過去のデータには、2003年度前期の結果（『教養と教育』第4号、2004年、pp.138-9の表の数値）があるが、上述したように調査項目の変更や科目の構成・履修方法の違いがあり、あまり役に立たない。ただ、「学習時間」でみると、「ゼロ」回答が2003年度前期では47.5%であり、ここでは改善ではなく後退傾向がうかがわれる。

(5) 「授業で得られたもの」の選択肢

アンケート結果の分析が困難と思われる項目として、「問15 この授業で何が得られましたか？（複数回答可）」がある（ここでは第14週のデータのみ）。

『教養と教育』第5号（2005年）の「共通科目の授業改善のための調査報告V」では、「第2章基礎科目と

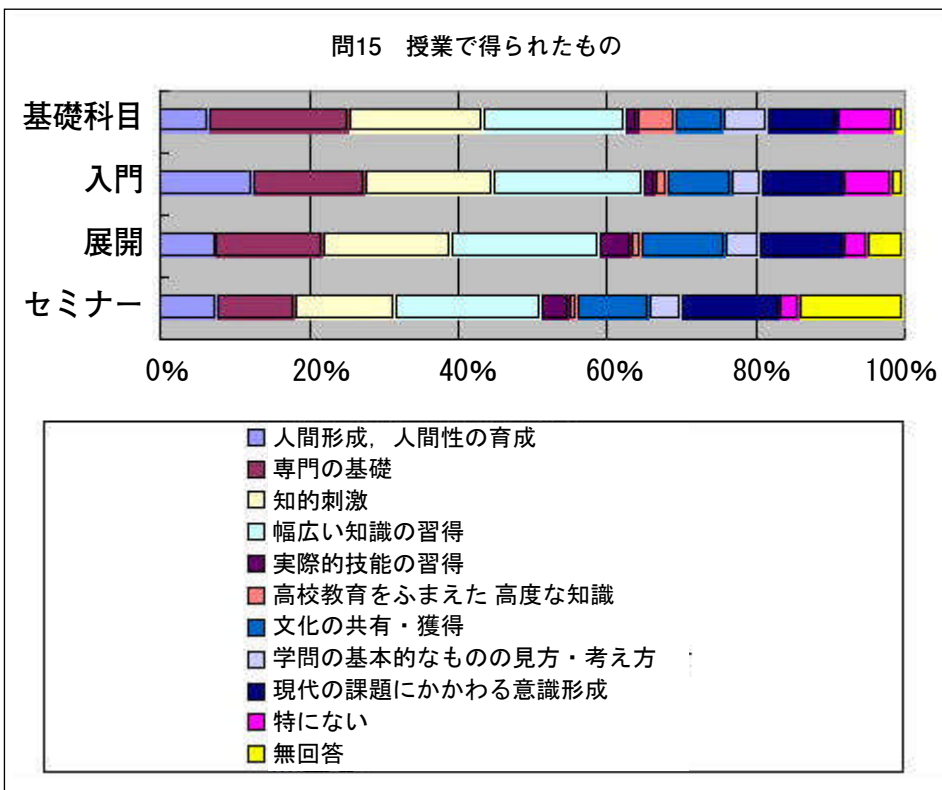
主題科目のアンケート結果の年次変化」において、「授業に求めたもの」として、基礎科目でも主題科目でも「幅広い知識」が最も多く6割前後であり、「年次変化はなくほとんど一定」としている（pp.108-9）。集計方法の違いと考えられるが、今回の2007年度結果とは大きく異なっている。

2007年度「基礎科目」では「専門の基礎」と「幅広い知識」とは同得点であり、「知識」系の回答が多いことが分かる。「主題科目入門」では、他の科目に比べて「人間形成、人間性の育成」の割合が高くなっている。

しかし、今回の調査結果でもっとも顕著な差異は、「主題科目セミナー」において、「無回答」がかなり高いことである。これと「特にない」を合わせると、17%の受講生がこの調査項目に「背を向けている」。以前の調査結果ではこれが2～3%だったことを考え合わせると、この調査項目が学生にとってあまり意味のないもの、答えられない・答えたくないものになっているのではないか、という反省が必要であろう。

例えば、従前の調査報告では、教員の側が重視する「現代の課題に関わる意識形成」と学生が重視し得られたとするものとの「ズレ」が指摘されてきたが、学生の側において「意識形成」を求める・得るという発想には無理がありはしないだろうか。あるいはまた「専門の基礎」の「専門」を、学生はどのように理解しているのか、必ずしも明らかではない。

このような点も含め、調査項目を学生側の視点で精査することが求められよう。



回答総数は以下の通り。

- 基礎科目：3,620
(回答枚数 2,065)
- 入門：1,466
(回答枚数 804)
- 展開：2,773
(回答枚数 1,398)
- セミナー：1,223
(回答枚数 658)

2. 共通科目の改善：現状と問題点

本年度改善部会は、2007年度学生の授業アンケートの結果を受けた各グループの「自己点検報告」に加えて、今後の共通科目の改革を視野に入れて、いわば公式の書式ではなかなか表現できない共通科目の困難や問題点について、各グループに問い合わせた。

2.1 授業改善の試み

まずは、グループ及び個々の教員によって授業改善の試みが、鋭意続けられていることを指摘しておきたい。

学生が意欲をもって授業に参加し、自ら学習する態度を養成しようと、グループで授業内容に関わる資料や用語解説、情報収集方法などをWeb上に公開したり、CD化して配布したりしている。あるいは授業目標をグループとして、あるいはその下のサブ・グループ毎に具体化したプリントを配布するところもある。学生の集団的な学習・調査・発表を課して、「学生が主人公」の授業を試みる例もある。

成績評価においても、複数の教員・方法による評価基準の厳格化・明確化に努めるグループ、統一できない場合での話し合い・議論による大枠作りを試みるグループ等、様々に工夫されている。

個々の授業での個々の教員の努力や工夫がこれまでも、そしてこれからも続けられることは言うまでもない。

しかし、こうした教員・グループの改善努力や工夫が真に生きるためには、それを阻害し、教員の意欲をそぐような問題状況をリアルに見つめ、制度的な改善策を練る必要があるだろう。以下では、あえて問題点を浮き彫りにする形で、「基礎科目」「主題科目」を中心に、各グループからの意見を整理し報告したい。

2.2 共通科目の問題点

(1) 教養科目「全員担当」原則

「全学で教養科目を担う」という考え方にたって、2000年度より専任教員一人あたり0.7コマ担当を原則に、各教員は「基礎科目」「主題科目」のいずれかのグループに属して授業を行ってきた。

この全員担当の原則については、第一に、「情報」「外国語」「スポーツ」といった共通科目の他の科目を主として担当する教員の過重負担をもたらしている。これらの科目担当者は、教養科目以外で、すでに一人あたりの授業数が他に比してかなり多いのである。このことは同様に教職科目関連の担当者についても言えるであろう。

第二に、「一人0.7コマ」という数値だけが一人歩きして、実際の担当は特定教員、とくに非常勤講師に委ねる例がまま見られる。これはグループとしてのまとまりや集団的討議・実践等をさらに難しくするもので

ある。

(2) グループ編成と教員編成

現行体制がスタートした2000年度以後、教員の定員削減や移動（転出や退職）がかなりあり、グループによる負担のアンバランス、教員不足が強まっている。「すでに限界を超えている」と意見を寄せたグループもあった。定期的な所属確認と必要なグループ間移動を行う必要があるだろう。

しかし、このような教員の再配置を、どこが責任主体となって行うのか。講座の事情による人事を基本とする体制と、全員担当原則の下で個々の教員の意思によってグループ所属が決まる体制との関係はそう簡単ではない。共通科目委員会が、グループの編成や教育内容、それに必要な教員の量や質を一元的に把握・決定できるわけでもない。

今回行った各グループへの調査のなかでも、現在のグループ編成の仕方そのものが問題だとする意見が寄せられている。とくに「主題科目」の7つのグループのなかには、発足当初よりグループの教育内容や組織が明確でないため困難を抱えているとするものがある。また「入門」「展開」「セミナー」の系統性・連続性を保つことの困難も訴えられている。「現実的には時間割等の都合で、学生の継続的な履修を強制できないために」「毎回、入門のような授業になっている」と述べる教員もいた。このような困難を抱えるグループでは、「現在のグループの理念やグループ編成のあり方自体に問題があるのではないか」との意見が出されている。

もちろん教育集団としてグループがうまく機能しており、「入門」から「セミナー」への発展が効果的に実現できていると回答したグループもある。旧カリキュラムのもとで、すでに分野「総合」を構成していたグループ（「平和と人権」「環境」など）においては、「主題科目」の意義を高く評価している。

とはいえ、今回調査で指摘された問題点を考えるならば、当面、全体的な再編成が困難であるとしても、柱（グループ）の分割や変更等の可能性を早急に探る必要があるだろう。

さらに「基礎科目」の分野については、本学教員の幅広い分野を考慮すれば、「人文」「社会」「自然」だけでなく、「創造」のような分野を立てることも考慮すべきであろう。

いずれにせよ、グループの編成及び教員の配置については、「基礎科目」だけ、「主題科目」だけを考えることはできず、共通科目全体の再編成と関連づける必要があるだろう。

(3) 共通科目の運営組織体制

本学の共通科目は、「共通科目委員会」がこれを統

括し、この委員会に参加する各グループ代表（及びコーディネータ）が、具体的な授業運営上の組織者となりつつ、全学共通科目の課題を検討し改善案等を練る、という体制になっている。

しかし現実には、共通科目委員会は、共通科目の年度ごとの「運営作業」に当たる委員会ではない。そもそもこの委員会を構成する委員は、現行の共通科目の構成を前提に、各グループから代表ないしコーディネータとして選出された教員である。多くは1～2年で交代し、継承性・継続性は保障されない。コーディネータの役割は、単に「時間割表を埋めること」になりがちである。グループとしてのまとまりが弱く、グループ会議等の議論も困難なところでは、「共通科目委員会向けの書類作りを、孤独な作業として行っている」という声もある。

これは単に代表やコーディネートの役割や権限を明確化し強化することでは解決されない。実際グループが教育集団として成り立ち得ない状況のままでの、権限・役割の明確化・強化は無意味である。これについては、「情報教育入門1・2」の場合も同様で、「2」が個別の教育単位によって担われているもとの、「情報教育1」の担い手講座から出ているコーディネータの役割と権限は、制度的にも曖昧であり、実際活動も困難である。

(4) その他の問題点

第一に、現行カリキュラムがスタートして以来、常に問題となってきたのが受講生のアンバランスである。「主題科目」については、7つの柱の教員グループ規模に大きな差異があること、学生の希望を全く無視することはできないことから、調整を行いつつも、受講生のアンバランスはある程度容認されてきた。しかし、「入門」→「展開」→「セミナー」の系統性・連続性を保障するための努力は、グループに委ねられてきた。本学がこの系統性・連続性を「主題科目」の教育目標や特色として掲げるとすれば、それを制度的に保障することが必要である。この点での点検が求められるよう。

第二に、「基礎科目」の人数調整の問題がある。第一週目の受講者の偏りを、同じ「入門」の枠内だけでなく、他の「入門」の授業とも調整しなければならないが、2007年度のグループ報告では、「調整は困難を極めた」との指摘があった。シラバスに15回の授業内容を定めても、初回の授業でスタートすることは難しくなる。講義科目の受講数の上限設定、使用する講義室の大きさと数、学生の選択の尊重、等々を考慮すると、現在の方法で進める限り、この困難は簡単には解決されないかもしれない。

しかし、他方で、人数調整の困難は時間割上の配置によって部分的に緩和できるとも思われる。基礎科

目ではなくて、「主題科目」の「展開1」についてであるが、「展開1」前期は3限と4限に置かれているが、この場合圧倒的に3限に学生が集中する。4限目を「嫌う」学生が多い昨今の状況に時間割が対応できていない点があると思われる。

同様の時間割上の問題として、「基礎科目」の「人文科学入門」が月曜日に、「社会科学入門」が火曜日に固定されていることが、担当教員（非常勤講師も含む）の限定につながっているという指摘もある。

おわりに

昨年末、中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて（答申）」が出され、「教養教育や専門教育などの科目区分にこだわるのではなく、一貫した学士課程教育として」の体系的な教育課程の編成がうたわれている。今後、本学の共通科目も、専門教育とともに改めて改革・再編成が求められるかもしれない。しかし、短期間に幾度も大きなカリキュラム改正を行うことは、単に教育負担・事務負担を拡大するだけでなく、大学としての教育コンセプトの確立をも困難にするものであり、慎重な対応が必要であろう。

とはいえ、本報告で述べたような問題点を放置しておくわけにはいかない。少なくとも、「基礎科目」と「主題科目」の「グループ」編成のあり方を再考する必要がある。

さらに長期的には、大学政策のめまぐるしい変化に足をすくわれないようにしながら、教育大学としての本学独自の専門教育と共通教育との関係を見つめ直し、共通教育の責任主体を明確にしつつ、「専門」を軸とする講座体制のなかでの「政治力学」に翻弄されない共通教育・教養教育体制を模索することが重要ではないかと思う。

追記：

2007年度学生アンケートのデータ集計等に当たっては、戸谷茂氏（理科教育講座）、伊藤幸枝氏（法人運営企画課）にご尽力いただいた。記して感謝したい。なお、本論における不備や誤りはすべて執筆者の責任であり、ご教示いただければ幸いである。

授業題目： L 基礎科目

回答数 2065

設 問		強くそう	ややそう	どちらと	あまりそ	全くそう	無回答	
		思う	思う	もいえない	う思わない	思わない		
問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた	%	18.1	51.0	20.9	5.9	4.1	0.0	
	回答数	373	1053	432	122	84	1	
問2 授業に触発されて、自分で考えたり調べたりしている	%	7.0	24.6	41.1	16.4	10.8	0.0	
	回答数	145	509	849	339	223	0	
問3 この授業を意欲的に受講した	%	18.8	35.2	31.8	9.7	4.5	0.0	
	回答数	389	727	656	200	93	0	
問4 教員の話し方は聞き取りやすい	%	16.2	35.1	31.2	11.5	5.9	0.1	
	回答数	334	725	645	237	121	3	
問5 教員の説明はわかりやすい	%	14.3	33.7	33.1	11.3	6.9	0.7	
	回答数	296	695	684	234	142	14	
問6 【板書や補助資料を使う場合】板書、プロジェクター、配付資料等はわかりやすい(使わない場合は無記入)	%	11.4	30.1	35.1	12.7	5.4	5.3	
	回答数	236	622	724	262	111	110	
問7 教員とのコミュニケーション(質疑、討論コメント用紙、ネットなどで)はうまくとれている	%	6.0	19.1	50.1	15.3	9.3	0.3	
	回答数	123	394	1034	315	193	6	
問8 この授業の教育目標が達成できた(14週のみ回答)	%	9.2	33.6	42.3	9.4	4.8	0.7	
	回答数	189	693	874	194	100	15	
問9 授業の難易度	選択肢	易しすぎる	易しい	ちょうどいい	難しい	難しすぎる	無回答	
	%	0.3	2.3	62.0	26.6	8.6	0.1	
	回答数	7	47	1281	550	177	3	
問10 一回当たりで扱われる授業内容の量	選択肢	少なすぎる	少ない	ちょうどいい	多い	多すぎる	無回答	
	%	0.2	1.3	76.0	16.4	5.3	0.8	
	回答数	4	26	1570	339	109	17	
問11 この授業のための週当たりの学習時間(課題・レポートに費やす時間も含む)	選択肢	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間以内	なし	無回答	
	%	1.7	2.4	11.5	33.5	50.5	0.4	
	回答数	35	49	237	692	1043	9	
問12 教員の授業時間の使い方(複数回答可)	選択肢	適切である	開始時間が遅い	終了時間より早い	終了時間を超過	休講が多い	無回答	合計
	%	90.3	1.8	1.2	6.3	0.1	0.3	100.0
	回答数	1871	37	25	130	3	7	2073
問13 【講義の場合】教員は授業の準備をよくしている 【演習・ゼミの場合】教員は演習(ゼミ)の目的を説明し、的確な指示をしている 【実験の場合】実験の目的に照らして、適切な準備と的確な指示をしている	選択肢	強くそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	この授業では無関係	無回答
	%	27.6	44.8	20.5	2.5	1.9	0.5	1.6
	回答数	569	925	424	51	40	10	33
問14 あなたは、この授業に毎回出席しましたか(複数回答可)	選択肢	ほとんど出席した	2.3回休んだ	よく休んだ	2.3回遅効した	よく遅効した	無回答	合計
	%	87.4	10.1	1.4	0.5	0.3	0.3	100.0
	回答数	1807	208	29	11	6	7	2068
問15 (8週目)この授業に何を求めましたか？ (14週目)実際にこの授業で何が得られましたか？ (複数回答可)	選択肢					%	回答数	合計
	人間形成、人間性の育成					6.6	239	3620
	専門の基礎					19.0	686	
	知的刺激					18.0	652	
	幅広い知識の習得					19.0	687	
	実際の技能の習得					1.8	66	
	高校教育をふまえた高度な知識					4.9	177	
	文化の共有・獲得					6.4	233	
	学問の基本的なものの見方・考え方					5.9	214	
	現代の課題にかかわる意識形成					9.5	344	
	特にない					7.5	272	
	無回答					1.4	50	

授業題目： 主題科目入門

回答数 804

設 問		強くそう 思う	ややそう 思う	どちらと もいえな い	あまりそ う思わな い	全くそう 思わな い	無回答	
問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた	%	19.7	51.2	21.1	6.2	1.7	0.0	
	回答数	158	412	170	50	14	0	
問2 授業に触発されて、自分で考えたり調べたりしている	%	10.0	21.4	43.3	16.4	9.0	0.0	
	回答数	80	172	348	132	72	0	
問3 この授業を意欲的に受講した	%	22.9	37.3	29.9	8.1	1.6	0.2	
	回答数	184	300	240	65	13	2	
問4 教員の話し方は聞き取りやすい	%	17.9	40.0	31.3	7.7	2.6	0.4	
	回答数	144	322	252	62	21	3	
問5 教員の説明はわかりやすい	%	14.7	38.1	34.7	7.2	4.4	1.0	
	回答数	118	306	279	58	35	8	
問6 【板書や補助資料を使う場合】板書、プロジェクター、 配付資料等はわかりやすい(使わない場合は無記入)	%	11.7	32.3	37.9	9.1	4.2	4.7	
	回答数	94	260	305	73	34	38	
問7 教員とのコミュニケーション(質疑、討論コメント用紙、 ネットなどで)はうまくとれている	%	7.6	21.0	51.7	13.2	6.0	0.5	
	回答数	61	169	416	106	48	4	
問8 この授業の教育目標が達成できた(14週のみ回答)	%	12.3	32.1	45.1	7.5	2.7	0.2	
	回答数	99	258	363	60	22	2	
問9 授業の難易度	選択肢	易しすぎる	易しい	ちょうどいい	難しい	難しすぎる	無回答	
	%	0.4	2.7	78.4	14.9	3.5	0.1	
	回答数	3	22	630	120	28	1	
問10 一回当たりで扱われる授業内容の量	選択肢	少なすぎる	少ない	ちょうどいい	多い	多すぎる	無回答	
	%	0.7	1.4	89.4	5.7	1.5	1.2	
	回答数	6	11	719	46	12	10	
問11 この授業のための週当たりの学習時間 (課題・レポートに費やす時間も含む)	選択肢	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間以内	なし	無回答	
	%	3.1	2.1	10.0	27.4	56.8	0.6	
	回答数	25	17	80	220	457	5	
問12 教員の授業時間の使い方(複数回答可)	選択肢	適切である	開始時間が遅い	終了時間より早い	終了時間を超過	休講が多い	無回答	合計
	%	93.2	1.6	2.5	0.5	0.7	1.5	100.0
	回答数	752	13	20	4	6	12	807
問13 【講義の場合】教員は授業の準備をよくしている 【演習・ゼミの場合】教員は演習(ゼミ)の目的を説明し、的確な指示をしている 【実験の場合】実験の目的に照らして、適切な準備と的確な指示をしている	選択肢	強くそう 思う	やや そう思う	どちらと もいえな い	あまり そう思わ ない	全くそう 思わな い	この授業 では無関 係	無回答
	%	23.6	45.5	23.0	2.0	2.2	1.4	1.6
	回答数	190	366	185	16	18	11	13
問14 あなたは、この授業に毎回出席しましたか (複数回答可)	選択肢	ほとんど 出席した	2.3回 休んだ	よく 休んだ	2.3回 遅効した	よく 遅効した	無回答	合計
	%	85.3	11.6	0.7	0.7	1.2	0.4	100.0
	回答数	689	94	6	6	10	3	808
問15 (8週目)この授業に何を求めましたか？ (14週目)実際にこの授業で何が得られましたか？ (複数回答可)	選択肢					%	回答数	合計
	人間形成、人間性の育成					12.6	185	1466
	専門の基礎					15.1	222	
	知的刺激					17.1	250	
	幅広い知識の習得					20.3	297	
	実際の技能の習得					1.5	22	
	高校教育をふまえた高度な知識					1.7	25	
	文化の共有・獲得					8.7	128	
	学問の基本的なものの見方・考え方					4.0	58	
	現代の課題にかかわる意識形成					10.9	160	
	特にない					6.5	96	
	無回答					1.6	23	

授業題目： 主題科目展開

回答数 1398

設 問		強くそう 思う	ややそう 思う	どちらと もいえな い	あまりそ う思わな い	全くそう 思わな い	無回答	
問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた	%	25.5	53.1	15.7	4.3	1.5	0.0	
	回答数	356	742	219	60	21	0	
問2 授業に触発されて、自分で考えたり調べたりしている	%	9.2	28.0	36.9	16.8	9.1	0.0	
	回答数	129	391	516	235	127	0	
問3 この授業を意欲的に受講した	%	28.0	37.4	26.3	6.1	2.2	0.1	
	回答数	391	523	367	85	31	1	
問4 教員の話し方は聞き取りやすい	%	21.8	41.8	26.8	7.4	2.0	0.2	
	回答数	305	584	374	104	28	3	
問5 教員の説明はわかりやすい	%	20.0	42.6	27.7	6.9	1.9	0.9	
	回答数	280	595	387	96	27	13	
問6 【板書や補助資料を使う場合】板書、プロジェクター、配付資料等はわかりやすい(使わない場合は無記入)	%	16.8	37.5	28.5	6.5	1.4	9.3	
	回答数	235	524	399	91	19	130	
問7 教員とのコミュニケーション(質疑、討論コメント用紙、ネットなどで)はうまくとれている	%	10.2	22.8	45.4	14.2	7.2	0.3	
	回答数	142	319	634	198	101	4	
問8 この授業の教育目標が達成できた(14週のみ回答)	%	13.9	38.3	38.1	5.9	2.0	1.8	
	回答数	195	536	532	82	28	25	
問9 授業の難易度	選択肢	易しすぎる	易しい	ちょうどいい	難しい	難しすぎる	無回答	
	%	0.4	6.6	76.5	14.0	2.1	0.4	
	回答数	5	92	1069	196	30	6	
問10 一回当たりで扱われる授業内容の量	選択肢	少なすぎる	少ない	ちょうどいい	多い	多すぎる	無回答	
	%	0.1	2.8	85.6	9.4	0.8	1.2	
	回答数	2	39	1197	132	11	17	
問11 この授業のための週当たりの学習時間(課題・レポートに費やす時間も含む)	選択肢	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間以内	なし	無回答	
	%	1.8	3.1	12.7	30.7	51.1	0.6	
	回答数	25	43	178	429	714	8	
問12 教員の授業時間の使い方(複数回答可)	選択肢	適切である	開始時間が遅い	終了時間より早い	終了時間を超過	休講が多い	無回答	合計
	%	89.0	3.2	2.4	3.3	1.1	1.0	100.0
	回答数	1252	45	34	46	15	14	1406
問13 【講義の場合】教員は授業の準備をよくしている 【演習・ゼミの場合】教員は演習(ゼミ)の目的を説明し、的確な指示をしている 【実験の場合】実験の目的に照らして、適切な準備と的確な指示をしている	選択肢	強くそう 思う	やや そう思う	どちらと もいえな い	あまり そう思わ ない	全くそう 思わな い	この授業 では無関 係	無回答
	%	34.6	47.0	13.9	1.8	0.3	0.1	1.8
	回答数	484	657	195	25	4	2	25
問14 あなたは、この授業に毎回出席しましたか(複数回答可)	選択肢	ほとんど出席した	2,3回休んだ	よく休んだ	2,3回遅効した	よく遅効した	無回答	合計
	%	78.4	18.1	2.4	0.4	0.1	0.6	100.0
	回答数	1098	253	33	5	2	9	1400
問15 (8週目)この授業に何を求めましたか？ (14週目)実際にこの授業で何が得られましたか？ (複数回答可)	選択肢					%	回答数	合計
	人間形成、人間性の育成					7.5	208	2773
	専門の基礎					14.4	400	
	知的刺激					17.3	480	
	幅広い知識の習得					19.9	551	
	実際の技能の習得					4.3	119	
	高校教育をふまえた高度な知識					1.4	40	
	文化の共有・獲得					11.2	311	
	学問の基本的なものの見方・考え方					4.7	129	
	現代の課題にかかわる意識形成					11.2	310	
	特にない					3.4	94	
	無回答					4.7	131	

授業題目： 主題科目セミナー

回答数 658

設 問		強くそ う思 う	ややそ う思 う	どちら とも いえ ない	あまり そ う思 わ ない	全くそ う思 わ な い	無回答		
問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた	%	34.5	52.6	9.7	2.6	0.6	0.0		
	回答数	227	346	64	17	4	0		
問2 授業に触発されて、自分で考えたり調べたりしている	%	21.0	40.6	26.7	9.4	2.0	0.3		
	回答数	138	267	176	62	13	2		
問3 この授業を意欲的に受講した	%	29.8	41.8	20.5	6.4	1.4	0.2		
	回答数	196	275	135	42	9	1		
問4 教員の話し方は聞き取りやすい	%	23.1	46.0	22.8	6.2	1.7	0.2		
	回答数	152	303	150	41	11	1		
問5 教員の説明はわかりやすい	%	22.8	41.0	26.3	5.9	2.1	1.8		
	回答数	150	270	173	39	14	12		
問6 【板書や補助資料を使う場合】板書、プロジェクター、 配付資料等はわかりやすい(使わない場合は無記入)	%	14.3	31.5	30.4	5.3	1.7	16.9		
	回答数	94	207	200	35	11	111		
問7 教員とのコミュニケーション(質疑、討論コメント用紙、 ネットなどで)はうまくとれている	%	20.8	39.4	28.1	8.5	3.0	0.2		
	回答数	137	259	185	56	20	1		
問8 この授業の教育目標が達成できた(14週のみ回答)	%	23.4	48.9	21.7	3.3	1.4	1.2		
	回答数	154	322	143	22	9	8		
問9 授業の難易度	選択肢	易し すぎる	易しい	ちょうど いい	難しい	難し すぎる	無回答		
	%	0.9	5.0	78.9	13.8	1.1	0.3		
	回答数	6	33	519	91	7	2		
問10 一回当たりで扱われる授業内容の量	選択肢	少な すぎる	少ない	ちょうど いい	多い	多 すぎる	無回答		
	%	0.5	3.2	86.6	7.8	1.4	0.6		
	回答数	3	21	570	51	9	4		
問11 この授業のための週当たりの学習時間 (課題・レポートに費やす時間も含む)	選択肢	3時間 以上	2~3時 間	1~2時 間	1時間 以内	なし	無回答		
	%	7.0	10.3	24.9	32.1	25.4	0.2		
	回答数	46	68	164	211	167	1		
問12 教員の授業時間の使い方(複数回答可)	選択肢	適切 である	開始時 間が遅 い	終了時 間より 早い	終了時 間を超 過	休講が 多い	無回答	合計	
	%	84.2	4.5	0.3	9.7	0.6	0.7	100.0	
	回答数	567	30	2	65	4	5	673	
問13 【講義の場合】教員は授業の準備をよくしている 【演習・ゼミの場合】教員は演習(ゼミ)の目的を説明し、的確な指示をしている 【実験の場合】実験の目的に照らして、適切な準備と的確な指示をしている	選択肢	強くそ う思 う	やや そ う思 う	どちら とも いえ な い	あ ま り そ う 思 わ ない	全 く そ う 思 わ な い	この 授 業 で は 無 関 係	無回答	
	%	28.3	45.4	17.6	3.0	1.8	1.4	2.0	
問14 あなたは、この授業に毎回出席しましたか (複数回答可)	選択肢	ほとん ど出 席し た	2,3回 休ん だ	よく 休ん だ	2,3回 遅効 した	よく 遅効 した	無回答	合計	
	%	66.0	26.6	1.5	4.0	1.3	0.6	100.0	
問15 (8週目)この授業に何を求めましたか？ (14週目)実際にこの授業で何が得られましたか？ (複数回答可)	選択肢	442	178	10	27	9	4	670	
	選択肢						%	回答数	合計
	人間形成、人間性の育成						7.8	95	1223
	専門の基礎						10.5	128	
	知的刺激						13.3	163	
	幅広い知識の習得						19.7	241	
	実際の技能の習得						3.8	46	
	高校教育をふまえた高度な知識						1.2	15	
	文化の共有・獲得						9.6	117	
	学問の基本的なものの見方・考え方						4.4	54	
	現代の課題にかかわる意識形成						13.1	160	
	特にない						2.6	32	
無回答						14.1	172		

愛知教育大学
(学生用)

授業改善のためのアンケート

このアンケート調査は、本学の授業改善のための基礎資料を作成するためのものです。問8は教育目標の達成についての設問です。8週目(中間)/14週目(期末)に2回行われた場合、8週目(中間)アンケートでは回答する必要がありません。別途指示がある場合は、指示に従って回答してください。

科目コード							授業日			学年		実施時期		科目別	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成	月	日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

- ・マークはHB(2B)の黒鉛筆あるいはシャープペンを使用し、 枠をキチンとマークしてください。(ボールペン・サインペン等は不可)
- ・マークは消すときはなるべくプラスチック製の消しゴムで、消しカスが残らないように消してください。

〈マークの仕方〉(良い例) (悪い例)

●以下の該当する選択肢を選びマークしてください。
※問12、14、15以外は択一回答です。

問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問2 授業に触発されて、自分で考えたり調べたりしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問3 この授業を意欲的に受講した。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問4 教員の話し方は聞き取りやすい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問5 教員の説明はわかりやすい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問6 【板書や補助資料を使う場合】板書、プロジェクター、配布資料等はわかりやすい。(使わない場合は無記入)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問7 教員とのコミュニケーション(質疑、討論コメント用紙、ネットなどで)はうまくとれている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問8 この授業の教育目標が達成できた。(14週のみ回答)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問9 授業の難易度.....	<input type="checkbox"/> 易しすぎる	<input type="checkbox"/> 易しい	<input type="checkbox"/> ちょうどいい	<input type="checkbox"/> 難しい	<input type="checkbox"/> 難しすぎる
問10 一回当たりで扱われる授業内容の量	<input type="checkbox"/> 少なすぎる	<input type="checkbox"/> 少ない	<input type="checkbox"/> ちょうどいい	<input type="checkbox"/> 多い	<input type="checkbox"/> 多すぎる
問11 この授業のための適当なり学習時間(課題・レポートに費やす時間も含む)	<input type="checkbox"/> 3時間以上	<input type="checkbox"/> 2~3時間	<input type="checkbox"/> 1~2時間	<input type="checkbox"/> 1時間以内	<input type="checkbox"/> なし
問12 教員の授業時間の使い方.....(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 開始時間が遅い	<input type="checkbox"/> 終了時間よりかなり早く終わる	<input type="checkbox"/> 終了時間を超過する	<input type="checkbox"/> 休講が多い
問13 【講義の場合】教員は授業の準備をよくしている。 【演習・ゼミの場合】教員は演習(ゼミ)の目的を説明し、的確な指示をしている。 【実験の場合】実験の目的に照らして、適切な準備と的確な指示をしている。	<input type="checkbox"/> 強くそう思う	<input type="checkbox"/> ややそう思う	<input type="checkbox"/> どちらともいえない	<input type="checkbox"/> あまりそう思わない	<input type="checkbox"/> 全くそう思わない
問14 あなたは、この授業に毎回出席しましたが。(複数回答可)	<input type="checkbox"/> ほとんど出席した	<input type="checkbox"/> 2・3回休んだ	<input type="checkbox"/> よく休んだ	<input type="checkbox"/> 2・3回遅刻した	<input type="checkbox"/> よく遅刻した

問15 (8週目) この授業に何を求めましたか？(14週目) 実際にこの授業で何が得られましたか？
下の項目から選択してマークしてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 人間形成、人間性の育成 | 2. 専門の基礎 |
| 3. 知的刺激 | 4. 幅広い知識の習得 |
| 5. 実際の技能の習得 | 6. 高校教育をふまえた高度な知識 |
| 7. 文化の共有・獲得 | 8. 学問の基本的なものの見方・考え方 |
| 9. 現代の課題にかかわる意識形成 | 0. 特にない |

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

以下の項目は各授業科目の担当グループから独自に設定される項目です。必要に応じて別紙または
授業担当者から質問項目が出されますので、指示にしたがって回答してください。

問16

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

問17

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

問18

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

問19

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

問20

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

問21

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

問22

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

ご協力ありがとうございました。